

大学番号：私246

注3

[平成27年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

びわこ成蹊スポーツ大学 スポーツ学部 スポーツ学科

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪成蹊学園

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総合企画部

職名・氏名 ソウゴウキカクブチョウ ヨシムライソウ  
総合企画部長 吉村太造

電話番号 077-596-8421

（夜間） 077-596-8418

F A X 077-596-8416

e-mail kikakukouhou@bss.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成28年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## スポーツ学部

＜スポーツ学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	12
4. 既設大学等の状況	13
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	29

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 大阪成蹊学園

## (2) 大学名

びわこ成蹊スポーツ大学

## (3) 大学の位置

〒520-0503

滋賀県大津市北比良1204番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長 総長	(イシイ シゲル) 石井 茂 (平成25年4月1日)		
学 長	(イイダ ミノル) 飯田 稔 (平成19年4月1日)	(カダ ユキコ) 嘉田 由紀子 (平成26年10月1日)	平成26年10月1日新たに学長として就任したため(27)
学 部 長	(シミズ シロウ) 清水 史郎 (平成24年4月1日)	(トヨダ ノリシゲ) 豊田 則成 (平成26年11月1日)	平成26年11月1日新たに学部長として就任したため(27)
学 科 長	(シミズ シロウ) 清水 史郎 (平成27年4月1日)	(トヨダ ノリシゲ) 豊田 則成 (平成27年4月1日)	平成27年4月1日新たに学科長として就任したため(27)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。  
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
スポーツ学部 スポーツ学科  学士(スポーツ学)	4年	360人 280人	-	1,440人 1,120人	変更前 280人 平成28年4月(28)

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	280人 280 ( - ) [ - ]	-	360人 360 ( - ) [ - ]	-	-	-	-	-	1.13倍	
志願者数	922 (-) [ - ]	-	739 (-) [ - ]	-	-	-	-	-		
受験者数	912 (-) [ - ]	-	737 (-) [ - ]	-	-	-	-	-		
合格者数	485 (-) [ - ]	-	511 (-) [ - ]	-	-	-	-	-		
B 入学者数	350 (-) [ - ]	-	368 (-) [ - ]	-	-	-	-	-		
入学定員超過率 B/A	1.25		1.02		-		-			

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ - ] ( - ) 350	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) 368	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	
2年次	/		[ - ] ( - ) 345	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	
3年次			/		/		[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —
4年次	/						/		/
計			[ - ] ( - ) 350	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) 713	[ - ] ( - ) —			

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成27年度 入学者	350 人	5 人	平成27年度	5 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への 入学(1人)、学生個人の心身に関する事情 (2人)	1.4 %
			平成28年度	0 人	0 人		
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成28年度 入学者	368 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		%
			平成29年度	人	人		
			平成30年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	人	平成30年度	人	人		%
合 計	718 人	5 人					0.7 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<スポーツ学部 スポーツ学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目	キャリア コミュニケーションと身体表現 現代社会と人間関係 人間の心理と行動	1前		2				1					
		1・2後		2			+				兼1	担当者退任により、職位変更(28)	
		1・2後		2							兼1		
		2・3前		2							兼1		
	生活と社会	法と生活(日本国憲法を含む)	1前	2								兼1	
		産業と経済	1・2後		2							兼1	
		地域福祉とボランティア 高齢化と家族	2・3前 2・3前		2 2							兼1 兼1	
	自然と文化	身近な自然科学	1前,後		2		1					兼1	
		国際化と文化	2・3後		2							兼1	
		地球の歴史と琵琶湖 陶芸と地域伝統文化	2・3前,後 2・3前,後		2 2		1 1					兼1 兼1	
	教育と情報	教育学概論	1・2前,後		2						+	兼2	教職課程認定審査時の指導により、担当者変更及び担当者追加 授業運営上の理由により、開講時期の変更(28) 追加
		現代社会とジャーナリズム	1・2前,後		2		1					兼1	
		情報と統計	1・2前,後		2							兼1	
		情報発信と情報倫理	2・3前,後		2				+	+		兼1	後任決定(28) 露出時に准教授1名で記載していたが、正しくは講師1名 担当教員(講師1名)就任辞退により、後任未定(27)
	初年次 教養	教養演習A	1前	2			1 6	4	1 4	4			授業内容の見直しによる担当者変更(28)
		教養演習B	1前	2			12 6	10 4	11 4	4			教育課程の充実を図るため担当者増(28)
		教養演習C	1後	2			12 6	10 4	11 4	4			教育課程の充実を図るため担当者増(28)
		小計(19科目)	—	8	30		12 6	10 4	11 4	4		兼12 兼8	
	外国語科目	英語Ⅰ	1通	4								兼3 兼2	担当教員就任辞退により、担当教員変更及び追加(27)
		英語Ⅱ	2通	4					1			兼2 兼4	担当者辞任により、担当者変更及び担当者追加(28)
英語Ⅲ		3・4前		2				1			兼1		
英語Ⅳ		3・4後		2				1			兼1		
ドイツ語		2・3前		2							兼1		
中国語		2・3前,後		2							兼1		
韓国語		2・3前,後		2							兼1		
スペイン語		2・3後		2							兼1		
	小計(8科目)	—	8	12			1				兼9 兼8 兼子		
情報処理	情報処理論	1前,後	2								兼1		
	コンピューターリテラシーⅠ	1・2前,後		2							兼1 兼2 兼4	担当者辞任により、担当者変更(28) 担当教員就任辞退により、担当教員変更及び追加(27)	
	コンピューターリテラシーⅡ	2・3前		2							兼1		
	コンピューターリテラシーⅢ	2・3後		2							兼1		
	小計(4科目)	—	2	6							兼3 兼4 兼3		
専門科目	講義・実習科目	スポーツ学入門Ⅰ(総論)	1前	2			2 4						教育課程の充実のため、担当者追加(27)
		スポーツ生理学概論	1後	2			+					兼1	担当者辞任により、職位変更(28)
		スポーツマネジメント概論	1後	2					1				教育効果を考慮し、開講時期の変更(27)
		スポーツ社会学概論	1後	2					1				
		スポーツ心理学概論	1前	2				1					
		水中運動法	1前,後	2				1	1	+			担当者資格(28) 露出時は教授1名が記入漏れ ※乗技
		体カトレーニング法	1前	2				1	+				担当者資格(28) ※乗技
身体構造と機能	1前	2				1 4	+	+			担当者資格(28) 追加 担当教員就任辞退により、単独講義に変更(27)		

専門科目	講義・実習科目	スポーツ入門Ⅱ（各論）	1後	4		19 16 18	12 14 13	12 4 6	5 4		担当者辞任、担当者昇格及び担当者追加(28) 教員入 届出時では教員入の記入漏れ 担当教員就任辞退により、後任未定及び担当教員変更 (27)	
		救急処置法	1前	2		1 4	4				担当者昇格(28) 担当教員就任辞退により1名で担当(27)	
		スポーツ哲学概論	2後	2		1						
		フレッシュマンキャンプ	1前	1		2	1 12					担当者辞任及び担当者昇格(28) 集中
		雪上実習	1後	1		2	1 12					担当者辞任及び担当者昇格(28) 集中
		水辺実習	2前	1		2	1 12					担当者辞任及び担当者昇格(28) 集中
		インターンシップ実習	3通	2			17 14 16	11 13 12	10 4 6	4 3		担当者辞任、担当者追加及び担当者昇格(28) 集中 担当教員就任辞退により、後任未定及び担当教員変更 (27)
		スポーツ学研究法	2後	2			1 4		5			届出時では教授4名、講師5名と記載していたが、正しくは教授1名
		スポーツ指導論	2前	2			4		1			届出時では教授1名と記載していたが、正しくは講師1名
		障害者スポーツ概論	2前		2				1	4		担当者昇格(28)
		テーピング・マッサージ法	1後		2		1	1				兼1 兼2 ※実技
		健康教育・管理論	2後		2		1					
		スポーツ医学概論	2後		2		1 4	4				担当者昇格(28) 届出時では教授1名と記載していたが、正しくは准教授 1名
		スポーツ栄養学概論	2後		2				1			
		身体発育発達論	2前後		2		1					
		レジャー・レクリエーション論	2前		2			1				
		衛生・公衆衛生学	2前		2		1					兼1 授業運営上の理由により、担当者追加(28)
		体育・スポーツ史	2前		2		1 2 4					担当者辞任(28) 届出時では教授1名と記載していたが、正しくは教授2名
		運動学概論	2前		2		1		1			授業運営上の理由により、担当者追加(28)
		スポーツ政策論	2前		2		1					
		学校保健	3後		2		1					
		体力測定と評価	3後		2		1	1				教員入
		武道論	3前		2		1 4					後任決定(28) 担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		舞踊論	2後		2			4				兼1 担当者退任により、職位変更及び開講時期の変更(28)
		スポーツ法学	2後		2							兼1
		スポーツボランティア実習	2・3・4通		1		1					
		スポーツと安全管理	2前		2		1					
スポーツと環境	2前		2		1							
スポーツ生理学Ⅰ	2前		2		4	1				担当者辞任により、担当者変更(28)		
スポーツバイオメカニクス	2前		2			1						
スポーツ統計学	2前		2				1					
海外研修実習	未開講 2・3・4通		1			1				履修希望者がいなかったため未開講(28) 集中		
小計(40科目)	—	33	44		20 17 18	12 14 13	12 4 6	5 4		兼5 兼3		
専門科目	実技科目	A群	器械運動	1前後	1			1	4		兼4 担当者昇格及び担当者辞任(28) 届出時では兼任講師1名の記入漏れ	
		陸上競技	1前後	1		1	4				担当者辞任(28)	
		B群	バスケットボール	1前後	1			1				
		バレーボール	1前後	1		1						
		サッカー	1前後	1		1		1				
		テニス	1前	1				1				
		ソフトボール	2前	1				1	4		届出時では講師1名記入漏れ 担当教員(講師1名)就任辞退により、後任未定(27)	
		C群	柔道	2前後	1		1 4					兼1 後任決定及び授業運営上の理由により、担当者追加(28) 担当教員就任辞退により、後任未定(27)
		剣道	2前後	1							兼1	
		ダンス	2前後	1				4	1		担当者退任により、担当者変更(28)	





コース 専 門 科 目	学 校 ス ポ ー ツ	学校スポーツ指導法Ⅱ	2・3・4後		2		1		2	4		担当資格及び授業運営上の理由により、担当者追加(2名)	
		保健体育授業分析評価法	3・4前		2				1	4		担当資格(2名) 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(2名)	
		教材開発演習Ⅰ	2・3・4前		2		1	1	2	4	4	担当資格(2名) 担当者追加及び担当者変更(2名) 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(2名)	
		教材開発演習Ⅱ	2・3・4前		2		1	4	1	4		担当資格(2名) 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更(2名) 届出時では准教授1名と記載していたが、正しくは教授1名	
		小計(11科目)	—		24		4	1	2	4	12		
	ト レ ー ニ ン グ ・ 健 康	トレーニング・健康基礎演習	2通		4		2	4	2	3	1		担当資格、担当資格及び授業運営上の理由により、担当者追加(2名) コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)
		トレーニング・健康演習	3通		4		2	4	2	3	1		担当資格、担当資格及び授業運営上の理由により、担当者追加(2名) コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)
		身体開発専門実習Ⅰ	3前		1		4	1	1	1			担当資格及び授業運営上の理由により、担当者変更(2名) コース必修 追加 授業運営上の理由により、担当者変更及び担当者追加(2名)
		身体開発専門実習Ⅱ	3後		1		1	1	1	1			コース必修 追加 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)
		スポーツリハビリテーション	2・3・4前		2		1	4					担当資格(2名)
		運動処方と運動療法	2・3・4後		2		4						兼1 職位変更(2名) 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)
		スポーツ生理学Ⅱ	3・4後		2		4						兼1 職位変更(2名) 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)
		実践スポーツ栄養学	2・3・4後		2					1			
		身体開発システム論	3後		2		4	1					担当資格により、担当者変更(2名)
		身体開発特別講義	3・4後		2		1	4					担当資格(2名)
スポーツコンディショニング論		3・4前		2		1	4					担当資格(2名)	
スポーツコンディショニング特別講義		3・4後		2		1	4					担当資格(2名)	
小計(12科目)	—		26		2	4	2	3	1		兼1		
コ ー チ ン グ	コーチング基礎演習	2通		4		4	3	4	2	1		後任決定、担当資格及び授業運営上の理由により、担当者追加(2名) コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)	
	コーチング演習	3通		4		4	3	4	2	1		後任決定、担当資格及び授業運営上の理由により、担当者追加(2名) コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)	
	コーチング専門実習Ⅰ	3前		1		4	3	4	2	1		後任決定、担当資格及び授業運営上の理由により、担当者追加(2名) コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)	
	コーチング専門実習Ⅱ	3後		1		4	3	4	2	1		後任決定、担当資格及び授業運営上の理由により、担当者追加(2名) コース必修 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)	
	コーチング理論Ⅰ	2・3・4前		2		1	1		1				
	コーチング理論Ⅱ	2・3・4前		2		1	2			1		届出時では教授2名と記載していたが、正しくは教授1名	
	サッカーコーチング理論と実践	2・3・4前		2		1							
	バレーボールコーチング理論と実践	2・3・4後		2		1							
	バスケットボールコーチング理論と実践	2・3・4前		2					1				
	テニスコーチング理論と実践	2・3・4後		2						1			
	陸上競技コーチング理論と実践	2・3・4前		2		1							
	柔道コーチング理論と実践	2・3・4後		2		1	4					後任決定(2名) 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)	
	水泳コーチング理論と実践	2・3・4前		2					1	4		担当資格(2名)	
トップアスリート論	2・3・4後		2		4	3	4	2	1		後任決定、担当資格及び担当者追加(2名) 担当教員就任辞退により、後任未定(2名)		
コーチング理論Ⅲ	2・3・4後		2		2	4			4		授業運営上の理由により、担当者変更(2名)		
小計(15科目)	—		32		4	3	4	2	1				

コース 専門科目	スポーツ ビジネス	スポーツビジネス基礎演習	2通	4	1	2 4	1 4	4	担当者資格(28) コース必修 担当教員就任辞退により、担当教員変更(27)
		スポーツビジネス演習	3通	4	1	2 4	1 4	4	担当者資格(28) コース必修 担当教員就任辞退により、担当教員変更(27)
		スポーツビジネス専門実習Ⅰ	3後	1		1	4		コース必修 担当教員就任辞退により、担当教員変更(27)
		スポーツビジネス専門実習Ⅱ	3後	1		1	4	4	授業運営上の理由により、担当者変更(28) コース必修 届出時では准教授1名と記載していたが、正しくは助教1名
		スポーツマーケティング	2・3・4前	2		1			担当者資格(28)
		スポーツ・メディア論	2・3・4前	2	1		4		担当者資格(28)
		スポーツ施設イベントマネジメント	2・3・4後	2			1	4	担当者資格(28)
		スポーツ産業論	2・3・4後	2			1	4	担当者資格(28)
		スポーツボンサーシップ	2・3・4前	2		1			
		スポーツマネジメント特別講義	2・3・4前	2		1		4	授業運営上の理由により、担当者変更(28) 教育課程充実のため、担当教員追加(27)
	小計(10科目)	—	22		1	2 4	1 4	4	
	スポーツ 情報 戦略	スポーツ情報戦略基礎演習	2通	4	1	1 2	2 4		担当者辞任により、担当者変更(28) コース必修
		スポーツ情報戦略演習	3通	4	1	1 2	2 4		担当者辞任により、担当者変更(28) コース必修
		スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ	3後	1	1	1 2	2 4		担当者辞任により、担当者変更(28) コース必修
		スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ	3後	1	1	1 2	2 4		担当者辞任により、担当者変更(28) コース必修
		身体操作法	2・3・4前	2		1 2	1		担当者辞任により、担当者変更(28) 兼任1
		パフォーマンス分析論	2・3・4後	2		4	1		担当者辞任により、担当者変更(28)
		スポーツメンタルサポート論	2・3・4後	2	1				
		スポーツ指導支援	2・3・4前	2			1		
		ゲーム分析法	2・3・4後	2			1		
スポーツ動作分析法		2・3・4前	2		1				
小計(10科目)	—	22		1	1 2	2 4			
卒業研究	卒業研究	4通	4		17 44 46	11 43 42	10 4 6	4 3	担当者辞任、担当者追加及び担当者資格(28) 担当教員就任辞退により、後任未定(27)
キャリア 関連 科目	エアロビックダンスⅡ	3・4前		1		1			
	エアロビックダンスⅢ	3・4後		1		1			
	レクリエーション指導法	3・4後		1	1				
	アスレティックトレーナー特別講座(1)	1・2前		2	1	4			担当者資格(28)
	アスレティックトレーナー特別講座(2)	4前		2					兼1
	アスレティックトレーナー実習Ⅰ	3前		1					兼1
	アスレティックトレーナー実習Ⅱ	3前		1	1	4			担当者資格(28)
	アスレティックトレーナー実習Ⅲ	4後		1	1	4			兼4 届出時では兼任講師1名と記載していたが、正しくは准教授1名
	健康運動指導士特別講座(1)	4前		2	1	1			
	健康運動指導士特別講座(2)	4後		2	1	1			
	キャリア英語Ⅰ	3・4前		2					兼1
	キャリア英語Ⅱ	3・4前		2					兼1
	キャリア英語Ⅲ	3・4後		2					兼1

キャリア関連科目	教職入門	1前		2					兼1		
	教師論	3後		2	1						
	教育学概論	1・2前 2後	2					4	兼2	教職課程認定審査時の指導により、職位変更及び担当者追加 授業担当者都合により、開講時期の変更(28) 該当	
	教育心理学	2前		2	1				兼1	教職課程認定審査時の指導により、担当者追加(28) 該当	
	教育制度論	3前		2					兼1	教職課程認定審査時の指導により、担当者変更(28)	
	生涯教育論	2後		2					兼1	教職課程認定審査時の指導により、担当者変更(28)	
	教育課程論	2前		2				4	兼1	担当者辞任により、職位変更(28)	
	保健体育科教育法Ⅰ(体育)	2前		2	1		4	4		教職課程審査時の指導により、担当者変更(28) 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更のため(27)	
	保健体育科教育法Ⅱ(保健)	3前		2	1	4				担当者昇格(28)	
	教材研究Ⅰ(体育) 保健体育科教育法Ⅲ	3後		2	1					教職課程認定審査時の指導により、科目名称変更(28)	
	教材研究Ⅱ(保健) 総合学習教材研究	3後		2	1	4				教職課程認定審査時の指導により、科目名称変更及び担当者変更(28)	
	道徳の指導法	後 2前		2					4	兼1	教職課程認定審査時の指導により、担当者変更 授業担当者都合により、開講時期の変更(28)
	特別活動論	3後		2						兼1	
	教育方法論	2後		2					4	兼1	教職課程認定審査時の指導により、担当者変更(28)
	生徒・進路指導論	2前		2	1						
	教育相談基礎論 学校カウンセリング	3後		2	1						教職課程認定審査時の指導により、科目名称変更(28)
	教育相談と学校カウンセリング 教育相談	3後		2						兼1	教職課程認定審査時の指導により、科目名称変更(28)
	教育実習指導	3・4通		1	1						
	教育実習Ⅰ(実習期間:3週間以上)	4前		4	1						
	教育実習Ⅱ(実習期間2週間)	4前		2	1						
教職実践演習(中・高)	4後		2		4 4		2		兼2	教職課程認定審査時の指導により、担当者追加(28)	
福祉と介護	2前		2						兼1		
特別支援教育論	2後		2						兼1		
小計(36科目)	—	2	65	8 5	1 4 3	2 4	12 4		兼1 兼2	届出時の修正による集計の修正(准教員4) 担当教員就任辞退により、後任担当教員変更のため(27)	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。  
 ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。  
 ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)  
 ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 25	科目 143	科目 36	科目 204	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)  
 ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ **履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。**
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目【該当なし】

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」【該当なし】

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考				
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	校舎敷地	50,097.54㎡	0㎡	0㎡	50,097.54㎡					
	運動場用地	79,482.00㎡	0㎡	0㎡	79,482.00㎡					
	小 計	129,579.54㎡	0㎡	0㎡	129,579.54㎡					
	そ の 他	15,019.28㎡ <del>4,755.28㎡</del>	0㎡	0㎡	15,019.28㎡ <del>4,755.28㎡</del>	校地の隣接地に10,264㎡の土地を購入、平成28年度に達成し、運動場用地及び学生駐車場として活用する予定。(28)				
	合 計	144,598.82㎡ <del>134,334.82㎡</del>	0㎡	0㎡	144,598.82㎡ <del>134,334.82㎡</del>					
(2) 校 舎	専 用	12,268.03㎡	0㎡	0㎡	12,268.03㎡					
	(12,268.03㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	( 0㎡)	(12,268.03㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	12室	演 習 室	9室	実験実習室	7室	情報処理学習施設	2室	語学学習施設	1室
						(補助職員 1 人)		(補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数		専任教員数増に伴い研究室増設。(28)			
	スポーツ学部 スポーツ学科				43 41 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌	電子ジャーナル	視聴覚資料	機械・器具	標 本			
		[うち外国書]	[うち外国書]					[うち外国書]		
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点				
	スポーツ学部 スポーツ学科	48,001 [1,971] 53,795 [2,039] <del>(50,975 [2,023])</del>	888 [141] 935 [156] <del>(916 [151])</del>	590 [590] 681 [681] <del>(677 [677])</del>	1,511 1,676 <del>(1,624)</del>	0 (0)	0 (0)	教育・研究充実のために図書資料等の購入増を図った。(28)		
計	48,001 [1,971] 53,795 [2,039] <del>(50,975 [2,023])</del>	888 [141] 935 [156] <del>(916 [151])</del>	590 [590] 681 [681] <del>(677 [677])</del>	1,511 1,676 <del>(1,624)</del>	0 (0)	0 (0)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数					
	1,637.08㎡		145席		46,194冊					
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要							
	6,337.97㎡		屋内水泳場1棟 トラック1面 サッカー競技場1面		テニスコート8.5面 野球場1面					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度		
		教員1人当り研究費等	600千円	600千円	図書購入費	— 千円	7,721千円	7,721千円		
	共同研究費等	4,500千円	4,500千円	設備購入費	— 千円	3,000千円	3,000千円			
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
		1,450千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常費補助金、寄附金、雑収入 等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
- なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	大阪成蹊大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
マネジメント学部									
マネジメント学科	4	90	-	670	学士 (経営学)	0.96	平成15年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
スポーツマネジメント学科	4	90	-	90	学士 (経営学)	1.21	平成28年度	同上	
芸術学部									
造形芸術学科	4	177	-	419	学士 (芸術)	0.95	平成18年度	同上	
情報デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度		平成27年より学生募集停止
環境デザイン学科	4	-	-	-	学士 (芸術)	-	平成18年度		平成27年より学生募集停止
教育学部									
教育学科	4	120	3年次10	350	学士 (教育学)	1.09	平成26年度	同上	
大学の名称	びわこ成蹊スポーツ大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
スポーツ学研究科									
スポーツ学専攻	2	10	-	20	修士 (スポーツ学)	0.60	平成24年度	滋賀県大津市北比良1204番地	
スポーツ学部									
スポーツ学科	4	360	-	640	学士 (スポーツ学)	1.13	平成27年度	同上	
生涯スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度		平成27年より学生募集停止
競技スポーツ学科	-	-	-	-	学士 (スポーツ学)	-	平成15年度		平成27年より学生募集停止
大学の名称	大阪成蹊短期大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
総合生活学科	2	-	-	-	短期大学士 (生活デザイン) (食物) (栄養)	-	昭和26年度		平成28年より学生募集停止
幼児教育学科	2	300	-	540	短期大学士 (幼児教育)	1.00	昭和31年度	大阪府大阪市東淀川区相川3丁目10番62号	
観光学科	2	90	-	180	短期大学士 (観光)	0.98	昭和42年度	同上	
グローバルコミュニケーション学科	2	30	-	80	短期大学士 (グローバルコミュニケーション)	0.86	平成15年度	同上	
経営会計学科	2	50	-	110	短期大学士 (経営会計)	0.89	平成15年度	同上	
生活デザイン学科	2	50	-	50	短期大学士 (生活デザイン)	0.98	平成28年度	同上	
調理・製菓学科	2	120	-	120	短期大学士 (調理・製菓)	1.07	平成28年度	同上	
栄養学科	2	120	-	120	短期大学士 (栄養)	0.96	平成28年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



5 教員組織の状況

<スポーツ学部 スポーツ学科>

(1) 担当教員表

設置時の計画				変更状況				備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	
				専	教授	嘉田 由紀子	平成27年4月	スポーツ学入門Ⅰ(総論) ※ 担当教員追加 (27)
専	教授	清水 史郎	平成27年4月					平成28年9月 清水史郎教授 一身上の都合により、辞任。 他任については「スノースポーツ」・「野外スポーツ特別講義」は中野友博教授が担当、それ以外の科目は、他に複数専任教員が担当しているため、支障はない(28) 担当専任教員目録の変更 (27) 届出時 ねんごの記載改め 担当専任教員目録の変更 (27)
				専	教授	中野 友博	平成28年4月	スノースポーツ 野外スポーツ特別講義 清水史郎教授辞任により、担当者変更 (28)
専	教授	新井 博	平成27年4月					スポーツ学入門Ⅱ(各論) ※ スポーツ学概論 体育・スポーツ史 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実務 地域スポーツ演習 卒業研究 届出時に記載改め
専	教授	中野 友博	平成27年4月					フレッシュマンキャンプ 実上実習 水辺実習 スノースポーツ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプマネジメント キャンプ指導法 野外スポーツ演習 卒業研究 レクリエーション指導法 届出時に記載改め
専	教授	金森 雅夫	平成27年4月					衛生・公衆衛生学 インターンシップ実習 体力測定と評価 スポーツ安全管理 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実務 生涯スポーツと地域保健 卒業研究 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2) 届出時に記載改め
				専	教授	狩野 孝之	平成28年4月	スポーツ学入門Ⅱ(各論) ※ 衛生・公衆衛生学 インターンシップ実習 体力測定と評価 スポーツ安全管理 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実務 生涯スポーツと地域保健 卒業研究 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2) 教養演習C 平成28年9月金森雅夫教授辞任により、担当者変更(28)
				兼任	講師	金森 雅夫	平成28年4月	衛生・公衆衛生学 教職課程申請審査時の指導により、職位等変更し、担当(28)
専	教授	柴田 俊和	平成27年4月					スポーツ学入門Ⅱ(各論) ※ 運動学概論 インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 保健体育科教育課程論 学校スポーツ指導法Ⅱ 教材開発演習Ⅱ 学校スポーツ演習 卒業研究 教職入門 届出時に記載改め
								届出時に科目名の記載ミス 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 教職課程申請審査時の指導により、担当授業科目追加(28) 教職課程申請審査時の指導により、担当科目授業追加(28) 教職課程申請審査時の指導により、担当授業科目追加(28)

専	教授	シヅカ ヨシノ 新宅 幸憲	平成27年4月	身体発育発達論 インターンシップ実習 レクリエーションスポーツ 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域スポーツの理論と実践 こどものあそびと運動 地域スポーツ演習 卒業研究					専任副学長、田村浩子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され
専	教授	アサヒ キョウコ 菅井 京子	平成27年4月	体育・スポーツ史 体づくり運動・健康体論 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 中高齢者と生涯スポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究					平成28年3月 菅井京子教授 一身上の都合により、辞任。 体育・スポーツ史は新井博教授、「体づくり運動・ 健康体論」は中山忠彦兼任講師が担当。「教養演習 A」は豊田副学長、田村浩子講師にて担当、それ以 外の科目は、黒須朱莉講師が担当(28) 届出時に記載され
専	講師	カズミ 7 黒須 朱莉	平成28年4月	教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ 体育・スポーツ史 体づくり運動・健康体論 インターンシップ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 中高齢者と生涯スポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究					菅井京子教授辞任により、担当者変更(28)  担当授業科目追加(28)
専	兼任 講師	ナカヤマ 忠彦 中山 忠彦	平成28年4月	体づくり運動・健康体論					菅井京子教授辞任により、担当者変更(28)
専	教授	ナカノ シンジ 中園 伸二	平成27年4月	健康教育・管理論 学校保健 インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅲ					豊田副学長、田村浩子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され 平成28年度は担当せず(28) 専任教員配置により、平成28年度は担当せず(28)  教職課程認定審査時の指導により、科名称変更及び 突出俊和教授に担当者変更(28) 教職課程認定審査時の指導により、担当科目追加 (28) 教職課程認定審査時の指導により、担当科目追加 (28)
専	兼任 教授	シバタ トシカズ 柴田 俊和	平成28年4月	教材研究Ⅰ(体育)					教職課程認定審査時の指導により、担当者変更(28)
専	教授	トウバ カズフミ 鳥羽 賢二	平成27年4月	スポーツ政策論 パレーホル インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅱ パレーホルコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究					届出時に記載され
専	教授	ワカギ コウジ 若吉 浩二	平成27年4月	スポーツ生理学概論 水中運動法 スポーツ生理学Ⅰ インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 身体開発システム論 トレーニング・健康演習 卒業研究					平成28年3月 若吉浩二教授 一身上の都合により、辞任。 スポーツ生理学概論は若吉浩二兼任講師が担当。 水中運動法は他に専任教員も担当しているため、 支援はない、それ以外の科目は、黒須光男講師が担当 (28) 届出時に記載され
専	兼任 准教授	ミヤノ 光男 綿屋 光男	平成28年4月	スポーツ学入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 身体開発システム論 トレーニング・健康演習 卒業研究 教養演習B 教養演習C					若吉浩二教授辞任により、担当者変更(28)  担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)
専	兼任 講師	ワカギ コウジ 若吉 浩二	平成28年4月	スポーツ生理学概論					教職課程認定審査時の指導により、職位等変更し、担 当(28)
専	教授	ゴトウ エフミ 後藤 英文	平成27年4月	現代社会とジャーナリズム インターンシップ実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツ・メディア論※ スポーツビジネス演習 卒業研究					豊田副学長、田村浩子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され  単独講義に変更(27)
専	教授	シバタ トシカズ 渋谷 俊浩	平成27年4月	陸上競技 インターンシップ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅰ 陸上競技コーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究					届出時に記載され

専	教授	神ノ マサ 高橋 正行	平成27年4月	身体構造と機能学 緊急処置 インテリゲンシブ実習 トレーニング・健康基礎演習 運動処方と運動療法 身体開発専門実習Ⅱ※ スポーツ生理学Ⅱ トレーニング・健康演習 卒業研究		後任未定			身体構造と機能学 スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ 緊急処置法 インテリゲンシブ実習 トレーニング・健康基礎演習 運動処方と運動療法 身体開発専門実習Ⅱ※ スポーツ生理学Ⅱ トレーニング・健康演習 卒業研究	運動処方と運動療法、「スポーツ生理学Ⅱ」は高橋正行兼任講師が担当。それ以外の科目は、他の専任教員が担当しているため支障はない。(27)
	兼任	講師	高橋 正行	平成28年4月	運動処方と運動療法 スポーツ生理学Ⅱ				職位等変更し、担当(28) 職位等変更し、担当(28)	
専	教授	トヲノ ハシナ 豊田 則成	平成27年4月	スポーツ心理学概論 スポーツコメンタリー実習 インテリゲンシブ実習 スポーツ情報戦術基礎演習 スポーツ情報戦術専門実習Ⅰ スポーツ情報戦術専門実習Ⅱ スポーツメンタルサポート論 スポーツ情報戦術演習 卒業研究				スポーツ心理学概論 スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ スポーツコメンタリー実習 インテリゲンシブ実習 スポーツ情報戦術基礎演習 スポーツ情報戦術専門実習Ⅰ スポーツ情報戦術専門実習Ⅱ スポーツメンタルサポート論 スポーツ情報戦術演習 卒業研究 スポーツ学入門Ⅰ (総論) ※ スポーツ学研究法 教養実習A 教養実習B 教養実習C	届出時に記載され 担当授業科目の追加(27) 担当授業科目の追加(27) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)	
専	教授	ムラノ マサ 村田 正夫	平成27年4月	武道論 素道 インテリゲンシブ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 素道コーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究		後任未定		スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ 武道論 素道 インテリゲンシブ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 素道コーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究	届出時に記載され 平成27年3月 村田正夫 大阪成蹊大学へ転任 平成27年10月から専任教員採用予定で公募中。(27)	
	専	教授	ハヤシ ヒロユキ 林 弘典	平成27年10月	スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ 武道論 素道 インテリゲンシブ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 素道コーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究 コーチング理論Ⅲ 教養実習B 教養実習C			スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ 武道論 素道 インテリゲンシブ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 素道コーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究 コーチング理論Ⅲ 教養実習B 教養実習C	平成27年3月村田正夫教授辞任により、担当者変更(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)	
	兼任	講師	ムラノ マサ 村田 正夫	平成28年4月	素道 教養実践演習(中・高)			素道 教養実践演習(中・高)	教職課程認定審査時の指導により、担当者追加(28) 教職課程認定審査時の指導により、担当者追加(28)	
専	教授	ツバキ キヨミ 望月 聡	平成27年4月	サッカー インテリゲンシブ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ サッカーコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング理論Ⅲ コーチング演習 卒業研究				スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ サッカー インテリゲンシブ実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ サッカーコーチング理論と実践 トップアスリート論 コーチング理論Ⅲ コーチング演習 卒業研究 教養実習B 教養実習C	届出時に記載され 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)	
専	教授	タナベ マチ 高柳 真人	平成27年4月	教育心理学 生徒・進路指導論 学校カウンセリング				教養実習A 教養実習B 教養実習C スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ 教育心理学 生徒・進路指導論 教育指導論 学校カウンセリング 教育実習指導 教育実習Ⅰ(実習期間:3週間以上) 教育実習Ⅱ(実習期間2週間) 教職実践演習(中・高)	書留別任教授、田村穂子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され 教職課程認定審査時の指導により、科目名称変更(28) 届出時に記載され	
	兼任	講師	フジタ タカシ 藤田 正	平成28年4月	教育心理学※			教育心理学※	教職課程認定審査時の指導により、担当者追加(28)	
専	教授	ニノノ マコ 西野 麻知子	平成27年4月	身近な自然科学 地球の歴史と琵琶湖 スポーツと環境				身近な自然科学 地球の歴史と琵琶湖 教養実習A 教養実習B 教養実習C スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ スポーツと環境	書留別任教授、田村穂子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され	
専	准教授	カサタ タツ 黒澤 毅	平成27年4月	フレッシュマンキャンプ 暑上実習 水辺実習 マリンスポーツ インテリゲンシブ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプカウンセリング 野外スポーツ理論と実践 キャンプ指導法 野外スポーツ演習 卒業研究		教授		スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ フレッシュマンキャンプ 暑上実習 水辺実習 マリンスポーツ インテリゲンシブ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプカウンセリング 野外スポーツ理論と実践 キャンプ指導法 野外スポーツ演習 卒業研究	教授に昇格したため(28) 届出時に記載され	
	准教授	サトウ ケイ 佐藤 馨	平成27年4月	スポーツ社会学概論 レジャー・レクリエーション論 インテリゲンシブ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究				教養実習A 教養実習B 教養実習C スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ スポーツ社会学概論 レジャー・レクリエーション論 インテリゲンシブ実習 地域スポーツ基礎演習 地域スポーツ専門実習Ⅰ 地域スポーツ専門実習Ⅱ 地域社会とスポーツ 地域スポーツ演習 卒業研究	書留別任教授、田村穂子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され	

専	准教授	谷川 尚己	平成27年4月	インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ指導法Ⅰ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅱ(保健) 総合学習教材研究	教授			<b>教養演習B</b> <b>教養演習C</b> スポーツ入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ指導法Ⅰ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅱ(保健) <b>教材研究Ⅱ(保健)</b> <b>総合学習教材研究</b>  <b>教職実践演習(中・高)</b>	教授に昇格したため(26) 届出時に記載され  教職課程認定審査時の指導により、科目名称変更及び 中・高専二教授へ担当変更(28)  教職課程認定審査時の指導により、担当科目追加 (28)
専	准教授	林(井戸) 綾子	平成27年4月	フレッシュマンキャンプ 甕上実習 水辺実習 インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプ指導法 野外スポーツプログラム 野外スポーツ演習 卒業研究				フレッシュマンキャンプ 甕上実習 水辺実習 スポーツ入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 野外スポーツ基礎演習 野外スポーツ専門実習Ⅰ 野外スポーツ専門実習Ⅱ キャンプ指導法 野外スポーツプログラム 野外スポーツ演習 卒業研究  <b>野外スポーツ理論と実践</b> <b>教養演習B</b> <b>教養演習C</b>	届出時に記載され   担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)
専	准教授	森川(齋藤) 実江子	平成27年4月	コミュニケーションと身体表現 舞踊論 インターンシップ実習 ダンス 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究				コミュニケーションと身体表現 舞踊論 教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 ダンス 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 教材開発演習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究	平成28年3月 森川(齋藤)実江子准教授定年により、退任。「コミュニ ケーションと身体表現」(舞踊論)は森川(齋藤)実 江子兼任講師、「ダンス」は大西祐司講師が担当。それ 以外の科目については、他の専任教員が担当して いるため、支障はない(26)
	専	講師	大西 祐司	平成28年4月	ダンス			森川(齋藤)実江子准教授退任により、担当変更(28)	
	兼任	講師	森川(齋藤) 実江子	平成28年4月	コミュニケーションと身体表現 舞踊論			職位等変更し、担当(28) 職位等変更し、担当(28)	
専	准教授	小松 猛	平成27年4月	身体構造と機能※ スポーツ医学概論 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツリハビリテーション 身体発育特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー実習Ⅱ	教授			身体構造と機能 スポーツ入門Ⅱ(各論)※ スポーツ医学概論 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツリハビリテーション 身体発育特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー実習Ⅱ	教授に昇格したため(26) 単級講義に変更(27) 届出時に記載され
専	准教授	志賀 光	平成27年4月	インターンシップ実習 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ 身体操作法※ パフォーマンス分析論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究				<b>教養演習A</b> <b>教養演習B</b> <b>教養演習C</b> スポーツ入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ 身体操作法※ パフォーマンス分析論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究	平成28年3月 志賀光准教授一人身の都合により、辞任。「教養演習 A」は、豊田明成教授、田村徳子講師が担当。「随上 級技」は他の専任教員が担当しているため、支障はな い。その以外の科目は藤林敬明講師が担当。(26)
	専	講師	藤林 敬明	平成28年4月	<b>教養演習B</b> <b>教養演習C</b> スポーツ入門Ⅱ(各論)※ インターンシップ実習 スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ 身体操作法※ パフォーマンス分析論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究			平成28年3月志賀光准教授辞任により、担当変更(26)	
専	准教授	高橋 佳三	平成27年4月	スポーツバイオメカニクス インターンシップ実習 ソフトボール ソフトボール スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ 身体操作法※ スポーツ動作分析論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究				スポーツ入門Ⅱ(各論)※ スポーツバイオメカニクス インターンシップ実習 ソフトボール スポーツ情報戦略基礎演習 スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ 身体操作法※ スポーツ動作分析論 スポーツ情報戦略演習 卒業研究	届出時に記載され
専	准教授	佃 文子	平成27年4月	体力トレーニング法 緊急処置法 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツコンディショニング特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー特別講座 (I) アスレティックトレーナー実習Ⅲ	教授			スポーツ入門Ⅱ(各論)※ 体力トレーニング法 テーピング・マッサージ法 緊急処置法 インターンシップ実習 トレーニング・健康基礎演習 スポーツコンディショニング特別講義 トレーニング・健康演習 卒業研究 アスレティックトレーナー特別講座(I) アスレティックトレーナー実習Ⅲ <b>身体発育特別実習Ⅱ</b> <b>教養演習B</b> <b>教養演習C</b>	教授に昇格したため(26) 届出時に記載され  担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)

専	准教授	フジマ (フイ) マコ 藤松 (富麻) 典子	平成27年4月	インターシニア実習 体力測定と評価 エアロビックダンスⅠ エアロビックエクササイズ トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅱ※ トレーニング・健康演習 卒業研究 エアロビックダンスⅡ エアロビックダンスⅢ 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2)				スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ インターシニア実習 体力測定と評価 エアロビックダンスⅠ エアロビックエクササイズ トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅱ※ トレーニング・健康演習 卒業研究 エアロビックダンスⅡ エアロビックダンスⅢ 健康運動指導士特別講座(1) 健康運動指導士特別講座(2) 教養演習B 教養演習C	届出時に記載され  担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)	
専	准教授	吉川 アツ 吉川 文人	平成27年4月	インターシニア実習 バスケットボール コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅰ バスケットボールコーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究			スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ インターシニア実習 バスケットボール コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ バスケットボールコーチング論と実践 トップアスリート論 コーチング演習 卒業研究 教養演習B 教養演習C	届出時に記載され  日本考典准教授に担当者変更(28)  担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)		
専	准教授	シタキ 白木 孝尚	平成28年4月				コーチング理論Ⅰ	履修進捗上の理由により、担当者変更(28)		
専	准教授	吉田 政幸	平成27年4月	スポーツマネジメント概論 海外研修実習 インターシニア実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツマーケティング スポーツビジネス演習 卒業研究			スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ 海外研修実習 インターシニア実習 スポーツビジネス基礎演習 スポーツマーケティング スポーツビジネス演習 卒業研究 教養演習B 教養演習C	届出時に記載され  担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)		
専	准教授	Steve Jugovic	平成27年4月	英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ			英語Ⅱ 英語Ⅲ 英語Ⅳ スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※	届出時に記載され		
専	講師	南島 (長田) 永衣子	平成27年4月	インターシニア実習 ソフトボール 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツの理論と実践 保健体育実習分析評価法 教材開発実習Ⅰ 学校スポーツ演習 卒業研究 保健体育科教育法Ⅰ(体育)	専	講師 助教	大西 祐司	平成27年4月	スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ インターシニア実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツの理論と実践 保健体育実習分析評価法 教材開発実習Ⅰ 学校スポーツ演習 学校スポーツ演習 卒業研究 <del>保健体育科教育法Ⅰ(体育)</del> 教養演習B 教養演習C ゼミ 学校スポーツ指導法Ⅱ 教職実践演習(中高)	講師に昇格したため(28) 届出時に記載され 平成26年9月 南島永衣子 一身上の都合により就任辞退のため担当者変更(27) 「ソフトボール」は、他に担当教員がいるため支障はない(27)  教職課程認定審査時の指導により、俊田俊和教授に担当変更(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 教職実践演習(中高) 担当授業科目追加(28)
専	教授	柴田 俊和	平成28年4月				保健体育科教育法Ⅰ(体育)	教職課程認定審査時の指導により、担当者変更(28)		
専	講師	片上 (吉田) 千恵	平成27年4月	情報発信と情報論理 インターシニア実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツの理論と実践 トップアスリート論 卒業研究	専	准教授	山本 達三	平成27年4月	スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ インターシニア実習 学校スポーツ基礎演習 学校スポーツ専門実習Ⅰ 学校スポーツ専門実習Ⅱ 学校スポーツの理論と実践 トップアスリート論 卒業研究 教養演習B 教養演習C スポーツビジネス専門実習Ⅱ	届出時に記載され  平成27年3月 片上 千恵 一身上の都合により就任辞退のため担当者変更(27)  担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28) 担当授業科目追加(28)
専	兼任 講師	後任未定 地的 修	平成28年4月				情報発信と情報論理	後任決定(28) 平成28年4月から採用予定で公募中(27)		
専	講師	北村 哲	平成27年4月	スポーツ指導論 インターシニア実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ コーチング理論Ⅰ テニスコーチング理論と実践 トップアスリート論 卒業研究			教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ スポーツ指導論 テニス インターシニア実習 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ テニスコーチング理論と実践 トップアスリート論 卒業研究 コーチング演習	豊田則成教授、田村徳子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され		
専	講師	白木 孝尚	平成27年4月	インターシニア実習 水中運動法 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 水泳コーチング理論と実践 トップアスリート論 卒業研究	専	准教授			教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ インターシニア実習 水中運動法 コーチング基礎演習 コーチング専門実習Ⅰ コーチング専門実習Ⅱ 水泳コーチング理論と実践 トップアスリート論 <del>コーチング理論Ⅰ</del> コーチング演習 卒業研究 コーチング理論Ⅰ	豊田則成教授、田村徳子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され  林弘典教授に担当者変更(28)  担当授業科目追加(28)
専	教授	林 弘典	平成28年4月				コーチング理論Ⅱ	履修進捗上の理由により、担当者変更(28)		
専	講師	武田 (黒岩) 哲子	平成27年4月	栄養と健康 スポーツ栄養学概論 インターシニア実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 実践スポーツ栄養学 トレーニング・健康演習 卒業研究			栄養と健康 <del>教養演習A</del> 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門Ⅱ (各論) ※ スポーツ栄養学概論 インターシニア実習 トレーニング・健康基礎演習 身体開発専門実習Ⅰ※ 実践スポーツ栄養学 トレーニング・健康演習 卒業研究	豊田則成教授、田村徳子講師に担当者変更(28) 届出時に記載され		



					専	講師	田村 徳子	平成28年4月	教養演習A 教養演習B 教養演習C スポーツ学入門II(各論)※	教員組織、教育充実のため専任教員新規採用(28)
					専	講師	木村 和美	平成28年4月	教養演習B 教養演習C スポーツ学入門II(各論)※	教員組織、教育充実のため専任教員新規採用(28)
兼任	講師	伊田 行秀	平成27年4月	現代社会と人間関係 人間の心理と行動						
兼任	講師	織田 健志	平成27年4月	法と生活(日本国憲法を含む)						
兼任	講師	見山 俊行	平成27年4月	産業と経済						
兼任	講師	牛谷 正人	平成28年4月	地域福祉とボランティア	兼任	講師	齋藤 誠一	平成28年4月	地域福祉とボランティア	牛谷正人兼任講師の辞任により、担当者変更(28)
兼任	講師	RAJKAI ZSOMBOR TIBOR	平成28年4月	高齢化と家族	兼任	講師	阿部 友香	平成28年4月	高齢化と家族	RAJKAI ZSOMBOR TIBOR兼任講師の辞任により、担当者変更(28)
兼任	講師	的場 寿光	平成28年10月	国際化と文化						
兼任	講師	大森 隆	平成28年4月	舞芸と地域伝統文化						
兼任	講師	木村 聡	平成27年4月	情報と統計 コンピューターリテラシーII コンピューターリテラシーIII						
兼任	講師	山本 なつみ	平成27年4月	英語I	兼任	講師	亀本 真朱	平成27年4月	英語I	兼任辞任に伴う担当者の変更(27)
					兼任	講師	菊池 浩	平成27年4月	英語I	平成28年3月辞任(28) 兼任辞任に伴う担当者の変更(27)
					兼任	講師	田中 佐重樹	平成28年4月	英語I	菊池兼任講師の辞任により、担当者変更(28)
兼任	講師	梅木 祐子	平成27年4月	英語I						
兼任	講師	Hamish Pidgeon	平成28年4月	英語II	兼任	講師	Kieran Green	平成28年4月	英語II	Hamish Pidgeon兼任講師の兼任辞任のため担当者変更(28)
					兼任	講師	Philip Montgomery Alexander	平成28年4月	英語II	担当者追加(28)
兼任	講師	Fangohr Till Daniel	平成28年4月	ドイツ語						
兼任	講師	郷 恵芳	平成28年4月	中国語						
兼任	講師	李 允昊	平成28年4月	韓国語	兼任	講師	魯 恵英	平成28年4月	韓国語	兼任辞任に伴う担当者の変更(27)
兼任	講師	大河 ジャックリネ	平成28年10月	スペイン語						
兼任	講師	北中 佑樹	平成27年4月	情報処理論						
兼任	講師	米沢 雄介	平成27年4月	コンピューターリテラシーI	兼任	講師	村木 祐太	平成27年4月	コンピューターリテラシーI	平成28年3月辞任(28) 兼任辞任に伴う担当者の変更(27)
					兼任	講師	藤原 悠久	平成27年10月	コンピューターリテラシーI	平成27年10月兼任辞任(28) カリキュラム充実のため担当者追加(27)
					兼任	講師	田中 優介	平成27年10月	コンピューターリテラシーI	村木祐太兼任講師辞任及び藤原悠久兼任講師兼任辞任により、担当者変更(28)

兼任	講師	アノイ 喜代加	平成28年4月	スポーツ法学									
兼任	講師	タカマ ヲシ	平成27年4月	器械運動									平成28年3月就任辞退 他の専任教員が担当しているため、支障はない (28)
兼任	講師	キタガワ サトル	平成28年4月	剣道	兼任	講師	オノヅカ ジュンイチ	平成28年4月	剣道				兼任辞退に伴う担当者の変更 (27)
兼任	講師	キタガワ サトル	平成27年10月	アービニング・マッサージ法									平成28年3月就任辞退 他の専任教員が担当しているため、支障はない (28)
兼任	講師	カタナガキ ケン	平成27年10月	アービニング・マッサージ法 アスレティックトレーナー特別講座 (2) アスレティックトレーナー実習Ⅰ									
兼任	講師	キタガワ フミ	平成29年4月	キャリア英語Ⅰ キャリア英語Ⅱ キャリア英語Ⅲ									
兼任	講師	シバタ マコト	平成29年10月	教師論				平成27年4月	教職入門				平成28年3月就任辞退 届出時には就任予定年と担当科目名を誤記載
	兼任	講師	タケイ テツヨ	武井 哲郎	平成28年4月	教職入門							平成28年3月就任辞退 教職課程認定審査時の指導により、担当者変更 (28)
兼任	講師	ナシノ マチ	平成29年4月	教育制度論	兼任	講師	タケイ テツヨ	武井 哲郎	平成29年4月	教育制度論			平成28年3月就任辞退 教職課程認定審査時の指導により、担当者変更 (28)
兼任	講師	セダコウ ヨシヘイ	平成28年10月	生涯教育論	兼任	講師	タケイ テツヨ	武井 哲郎	平成28年10月	生涯教育論			平成28年3月就任辞退 教職課程認定審査時の指導により、担当者変更 (28)
兼任	講師	ヤマモト ナホ	平成29年10月	特別活動論	兼任	講師	マツモト タカノ	松本 高宣	平成29年10月	特別活動論			平成28年3月就任辞退 教職課程認定審査時の指導により、担当者変更 (28)
兼任	講師	キタガワ マコ	平成29年10月	教育相談					教育相談と学校カウンセリング				教職課程認定審査時の指導により、科目名称変更 (28)
兼任	講師	サキガキ アキ	平成28年4月	福祉と介護 特別支援教育論	兼任	講師	キタガワ マコ	森本 創	平成28年4月	福祉と介護 特別支援教育論			平成28年3月就任辞退 教職課程認定審査時の指導により、担当者変更 (28)
					兼任	講師	タケイ テツヨ	武井 哲郎	平成30年4月	教職実践演習(中・高)			教職課程認定審査時の指導により、担当者追加 (28)

- (注) ・ 申請書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇学部 △△学科〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。  
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。  
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。  
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。  
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。  
 ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**  
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。  
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度( )書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等  
 (2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
18	13	6	4	41	20	12	12	0	44	20	12	12	0	44
(17)	(14)	(4)	(5)	(40)						(2)	(△1)	(6)	(△4)	(3)

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ② 年齢構成

年齢構成			
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数	
65	1	4	名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。



(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由								
1	教授	高橋 正行	必修 身体構造と機能	①	一身上の都合により就任辞退（27）								
			必修 救急処置法	①									
			必修 スポーツ学入門Ⅱ（各論）	①									
			必修 インターンシップ実習	①									
			選択 トレーニング・健康基礎演習	①									
			選択 運動処方と運動療法	②									
			選択 身体開発専門実習Ⅱ	①									
			選択 スポーツ生理学Ⅱ	②									
			選択 トレーニング・健康演習	①									
2	教授	村田 正夫	必修 卒業研究	①	学校法人大阪成蹊学園が設置する大阪成蹊大学へ転任のため就任辞退（27）								
			選択 武道論	①									
			必修 スポーツ学入門Ⅱ（各論）	①									
			選択 柔道	①									
			必修 インターンシップ実習	①									
			選択 コーチング基礎演習	①									
			選択 コーチング専門実習Ⅰ	①									
			選択 コーチング専門実習Ⅱ	①									
			選択 柔道コーチング論と実践	①									
3	講師	南島（長田）永衣子	必修 卒業研究	①	一身上の都合により就任辞退（27）								
			必修 インターンシップ実習	①									
			必修 スポーツ学入門Ⅱ（各論）	①									
			選択 ソフトボール	①									
			選択 学校スポーツ基礎演習	①									
			選択 学校スポーツ専門実習Ⅰ	①									
			選択 学校スポーツ専門実習Ⅱ	①									
			選択 学校スポーツの理論と実践	①									
			選択 保健体育授業分析評価法	①									
			選択 教材開発演習Ⅰ	①									
			選択 学校スポーツ演習	①									
			必修 卒業研究	①									
4	講師	片上（吉田）千恵	自由 保健体育科教育法Ⅰ	①	一身上の都合により就任辞退（27）								
			選択 情報発信と情報理論	②									
			必修 スポーツ学入門Ⅱ（各論）	①									
			必修 インターンシップ実習	①									
			選択 スポーツビジネス基礎演習	①									
			選択 スポーツビジネス専門実習Ⅰ	①									
			選択 スポーツ・メディア論	①									
			選択 スポーツビジネス演習	①									
			必修 卒業研究	①									
合計（A）			後任補充状況の集計（B）										
就任を辞退した教員数			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）				
4	人	必修	14	科目	必修	14	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	26	科目	選択	23	科目	選択	3	科目	選択	0	科目
		自由	1	科目	自由	1	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	41	科目	計	38	科目	計	3	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことで、就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) 一② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	清水 史郎	必修	スポーツ学入門Ⅱ (各論)	①	一身上の都合により辞任 (28)
			必修	フレッシュマンキャンプ	①	
			必修	雪上実習	①	
			必修	水辺実習	①	
			選択	スノースポーツ	①	
			必修	インターンシップ実習	①	
			選択	野外スポーツ基礎演習	①	
			選択	キャンプ指導法	①	
			選択	野外スポーツ特別講義	①	
			選択	野外スポーツ演習	①	
2	教授	金森 雅夫	必修	卒業研究	①	一身上の都合 (健康上の理由) により辞任 (28)
			選択	衛生・公衆衛生学	①	
			必修	スポーツ学入門Ⅱ (各論)	①	
			必修	インターンシップ実習	①	
			選択	体力測定と評価	①	
			選択	スポーツと安全管理	①	
			選択	地域スポーツ基礎演習	①	
			選択	地域スポーツ専門実習Ⅰ	①	
			選択	地域スポーツ専門実習Ⅱ	①	
			選択	地域スポーツの理論と実践	①	
			選択	生涯スポーツと地域保健	①	
			選択	地域スポーツ演習	①	
			必修	卒業研究	①	
自由	健康運動指導士特別講座(1)	①				
自由	健康運動指導士特別講座(2)	①				
3	教授	菅井 京子	必修	教養演習A	①	一身上の都合 (家庭の事情) により辞任 (28)
			必修	教養演習B	①	
			必修	教養演習C	①	
			必修	スポーツ学入門Ⅱ (各論)	①	
			選択	体育・スポーツ史	①	
			選択	体づくり運動・健康体操	②	
			必修	インターンシップ実習	①	
			選択	地域スポーツ基礎演習	①	
			選択	地域スポーツ専門実習Ⅰ	①	
			選択	地域スポーツ専門実習Ⅱ	①	
			選択	中高齢者と生涯スポーツ	①	
			選択	地域スポーツ演習	①	
			必修	卒業研究	①	
4	教授	若吉 浩二	必修	スポーツ生理学概論	②	一身上の都合 (健康上の理由) により辞任 (28)
			必修	スポーツ学入門Ⅱ (各論)	①	
			必修	水中運動法	①	
			選択	スポーツ生理学Ⅰ	①	
			必修	インターンシップ実習	①	
			選択	トレーニング・健康基礎演習	①	
			選択	身体開発専門実習Ⅰ	①	
			選択	身体開発システム論	①	
			選択	トレーニング・健康演習	①	
			必修	卒業研究	①	
5	准教授	森川 (齋藤) 実江子	選択	コミュニケーションと身体表現	②	定年退職 により退任 (28)
			選択	舞踊論	②	
			必修	教養演習A	①	
			必修	教養演習B	①	
			必修	教養演習C	①	
			必修	スポーツ学入門Ⅱ (各論)	①	
			必修	インターンシップ実習	①	
			選択	ダンス	①	
			選択	学校スポーツ基礎演習	①	
			選択	学校スポーツ専門実習Ⅰ	①	
			選択	学校スポーツ専門実習Ⅱ	①	
			選択	教材開発演習Ⅰ	①	
			選択	学校スポーツ演習	①	
必修	卒業研究	①				

6	准教授	志賀 充	必修	教養演習A	①	一身上の都合（家庭の事情）により辞任（28）			
			必修	教養演習B	①				
			必修	教養演習C	①				
			必修	スポーツ学入門Ⅱ（各論）	①				
			必修	インターンシップ実習	①				
			選択	陸上競技	①				
			選択	スポーツ情報戦略基礎演習	①				
			選択	スポーツ情報戦略専門実習Ⅰ	①				
			選択	スポーツ情報戦略専門実習Ⅱ	①				
			選択	身体操作法	①				
			選択	パフォーマンス分析論	①				
			選択	スポーツ情報戦略演習	①				
7	助教	武井 哲郎	必修	教養演習A	①	一身上の都合（健康上の理由）により辞任（28）			
			必修	教養演習B	①				
			必修	教養演習C	①				
			必修	スポーツ学入門Ⅱ（各論）	①				
			自由	教育学概論	②				
			自由	道徳の指導法	②				
			自由	教育方法論	②				
			自由	教育課程論	②				
合計（C）			後任補充状況の集計（D）						
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
7	人	必修	36 科目	必修	35 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	41 科目	選択	38 科目	選択	3 科目	選択	0 科目
		自由	6 科目	自由	2 科目	自由	4 科目	自由	0 科目
		計	83 科目	計	75 科目	計	8 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで**に専任教員が新たに辞任等した場合**、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

上記（3）-① ・ （3）-② の合計

合計（A）+（C）			後任補充状況の集計（B）+（D）						
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）	①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）		
11	人	必修	50 科目	必修	49 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	67 科目	選択	61 科目	選択	6 科目	選択	0 科目
		自由	7 科目	自由	3 科目	自由	4 科目	自由	0 科目
		計	124 科目	計	113 科目	計	11 科目	計	0 科目

- (注) ・ **就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。**

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>退任した教員の補充について迅速に対応したことや、一部の科目について非常勤講師を雇用したことで未開講科目がないようにしている。専任教員の退任及び新たな就任についての学生への周知は、履修ガイダンス及び各コースを通して行い学生に不安や不利益が生じないよう十分に配慮した。</p>
---

- (注) ・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時  (27年4月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	<p>「教養演習A」、「英語Ⅰ」等の各科目について、大学教育として適切な内容となるよう再度精査し、シラバスもあわせて修正すること。なお、科目を履修するに当たっては必要に応じて正課教育外のリメディアル教育で補完すること。さらに、アドミッションポリシーに沿って適切な選抜を行うよう改善を図ること。(スポーツ学部スポーツ学科)</p>	是正意見	<p>本学の全授業科目についてその内容を厳格に精査し、シラバスについても全面的な見直しを実施した。特にご指摘のあった、「教養演習A」については、大学教育として適切な内容に改善し、シラバスを修正した。</p> <p>「英語Ⅰ」について、大学教育として適切な水準となるよう、授業計画、内容につき精査のうえ充実を図り、シラバスを修正した。</p> <p>正課教育外のリメディアル教育の内容が含まれていた科目にあつては、学内に「学習支援室」を新たに開設し、必要に応じて正課教育外のリメディアル教育として補完することとした。</p> <p>さらに、平成28年度入試選抜においては、スポーツへの興味関心、運動能力、基礎学力等、本学の入学者に求める能力について多角的に測ることのできるよう、調査書、スポーツ活動状況証明書及び各入試種別における入学試験成績、面接等で総合的に判断し、アドミッションポリシーに沿った適切な選抜を行った。(28)</p>	
	<p>一部の科目において、中間テストの成績によって、その後の授業が免除されている実態があるが、この場合、大学が定める授業の時間が確保されておらず、大学設置基準第21条第2項に抵触しているため、授業時間が適切に確保されるよう改善すること。(スポーツ学部スポーツ学科)</p>	是正意見	<p>平成28年度において、いずれの科目においても、中間テストの成績の良否にかかわらず、大学が定める授業時間を確保するよう、授業時間について教員の理解を徹底し、授業時間が適切に確保されるよう改善した。(28)</p>	

<p>学生募集を停止した2学科及び本学科について、継続的に定員を超過している状態は大学設置基準第18条第3項に規定する適切な定員管理がなされていないと判断せざるを得ない。次年度より定員を増加することとなっているが、同規定の趣旨を踏まえ、適切な定員管理を行うとともに、専任教員の配置、施設・設備等の教育研究環境の整備・充実に努めること。(スポーツ学部スポーツ学科)</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成28年度の学生募集にあっては、入試種別ごとの定員管理に努め、入学定員360人に対し368人の入学者となった。 また、適切な入学定員管理の下で、適切な教育研究活動を実現できるように、教育課程を踏まえ、専任教員の増員・配置をした。さらに施設・設備等の教育研究環境を整備・充実した。(28)</p>	
<p>本学から提出された報告書には、記載に多くの誤りがあり、設置計画履行状況の正確な報告がなされなかったことから、ミスの再発防止に向けた組織的なチェック体制を早急に構築し運用すること。(スポーツ学部スポーツ学科)</p>	<p>改善意見</p>	<p>平成28年度において業務スキル向上、大学及び学園内の組織的なチェック体制を構築し、業務連携や情報共有を図るべく徹底している。大学においては、提出書類を、総合企画部で作成し、事務部で複数担当者により厳密なチェックを行ない確認作業を行っている。学園の経営企画本部と連携を取り、再発防止に向け組織的な取り組みを行い、ミスの根絶を図っている。(28)</p>	
<p>同一科目において、評価基準・方法が教員ごとで異なる科目があり、学生に混乱を与えていると思われる。また、シラバスの成績評価方法において、「出席状況(20%)」のように出席自体を成績評価の基準としている科目が見受けられる。そのため、それらが大学教育の質を担保するにふさわしい評価基準であるか検討し、必要に応じて見直すとともに、FD等を通じて大学としての統一的な教育方針を教員間で共有し、適切な評価が行えるようにすること。あわせて、成績評価基準等の明示を定めた大学設置基準第25条の2の趣旨を踏まえ、評価方法についてシラバスに適切に記載すること。(スポーツ学部スポーツ学科)</p>	<p>改善意見</p>	<p>学生に混乱や不利益が生じないように、特に同一科目においては、成績評価基準や方法を統一し、シラバスにも具体的な評価方法を明記した。 また、出席自体を成績評価の基準とすることは、大学教育の質保証の観点からも不適切であることについて、共通理解を図り、適切な成績評価基準を設定した上で、シラバスでも明記している。 なお、平成28年度シラバス作成においては、事前にガイドラインを共有し、提出された全シラバスに対して複数の担当者により点検を重ね、「大学教育として適切で、且つ学生にわかりやすいシラバス」となるよう改善した。また、教授会・FD活動等において教員間の教育方針並びに成績評価基準の正しい内容について認識の共有を徹底した。(28)</p>	

設置計画履行状況 調査時 (年月)				
設置計画履行状況 調査時 (年月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<スポーツ学部 スポーツ学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

教員の資質の向上と教育の活性化のため、専任教員若干名と教務課長（事務系）で構成する常設のファカルティ・ディベロップメント(FD)専門委員会を設置している。

びわこ成蹊スポーツ大学教務委員会ファカルティ・ディベロップメント(FD)専門委員会規程

平成21年4月1日制定

##### (趣旨)

第1条 この規程は、びわこ成蹊スポーツ大学教務委員会規程第8条の規定に基づき、びわこ成蹊スポーツ大学に置くファカルティ・ディベロップメント(FD)専門委員会(以下「委員会」という。)の組織、運営等に関し、必要な事項を定める。

##### (審議事項)

第2条 委員会は、次の事項を審議し、学長に意見を述べることできる。

- (1) FD活動の基本方針に関すること。
- (2) FD活動の企画及び立案に関すること。
- (3) FD活動の実施及び結果の公表に関すること。
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関すること。
- (5) その他FDに関連すること。

##### (組織)

第3条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 学長が指名する教務委員会委員 若干名
  - (2) 教務課長
- 2 委員会に議長を置き、委員の中から学長が総長の了解を得た上で指名する。
- 3 第1項第1号の委員は、学長が総長の了解を得た上で指名する。

##### (任期)

第4条 前条の委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 前項の委員は、再任することができる。

##### (会議)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席により成立する。

2 委員会の議事は、出席議員の過半数によって決し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(委員以外の出席)

第6条 委員会は、必要に応じ、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(事務)

第7条 委員会の事務は、教務課において処理する。

(雑則)

第8条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の審議を経て学長が別に定める。

第9条 委員会において、教務委員会での審議が必要と決めた事項は、教務委員会に委ねるものとする。

附 則

この規程は、平成21年4月1日から施行する。

附 則（平成24年1月25日）

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則（平成26年11月20日）

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（平成28年4月21日）

この規程は、平成28年4月21日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

FD専門委員会は平成27年度は9回開催し、委員会は教員4名と教務課長（事務系）の5名で構成し、基本的に全員が参加している（開催日：4/14、5/19、6/3、7/7、9/25、10/7、11/4、12/2、2/9）。

c 委員会の審議事項等

FD専門委員会は、FD活動の基本方針の策定、FD活動の企画及び立案、FD活動の実施及び結果の公表、FD活動に関する情報の収集と提供等に関して審議を行っている。

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 成績評価基準及び分布の設定
- ・ 授業評価アンケート、卒業研究論文アンケート、教員相互の授業参観に関する取り組み。
- ・ 教員の質保持に関する取り組み

b 実施方法

上記の取り組みは、FD専門委員会で審議し、教務委員会、拡大教授会で報告のうえ、FD専門委員会が実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 成績評価基準及び分布の設定、全学的なシラバスの点検、成績評価の分析を行った。
- ・ 図書学術委員会と共同で研究倫理に関する研修会及びシラバスのありかたに関する説明会を実施した。
- ・ 年間を通して、教員相互の授業参観を実施した。
- ・ 卒業研究論文に関するアンケートを学生、教員ともに実施した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 授業アンケート結果のフィードバックを実施し、教員の業務支援や業績評価（教員表彰等）に結びつける仕組みを作る検討をした。
- ・ 今後も教員相互の授業参観を活性化させるとともに、教員の更なる能力開発に役立つ研修会を実施する。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 授業評価アンケートは、昨年同様の情報システム（Saa i -M a s）を利用し、各学期の中間・期末の計4回実施し、教務課がデータの集計を行い、委員が調査結果をまとめた。

b 教員や学生への公開状況、方法等

調査結果を公開し、図書館にて閲覧できるようにしている。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）



### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>&lt;設置の趣旨・目的&gt; 本学は、平成15年4月に生涯スポーツの実践と競技スポーツのそれぞれの独自性を重視しつつ、その両面にまたがる新しい理論とシステムを開発することを目的として2学科体制で開設した。 しかし、10年を経て、時代の変化とともに2学科に分類することは理論的に明確でなく、その妥当性も高いものとは言いがたいと考え、より柔軟なカリキュラム設定を行う必要があると判断し、2学科体制を廃止し、平成27年4月に1学科の「スポーツ学科」を設置した。</p> <p>&lt;総括評価・所見&gt; 1. 2学科体制では、学生がまず1学科を選択し、その後それぞれの学科に設置されたコースを選択することとなっていた。1学科体制にしたことにより、学科選択を必要とせず、学科よりもコースの内容を特に重視する学生にとって、より早くに充実した専門性の高い教育を受けることが可能となった。 2. 1学科の教育課程に変更したことにより、学生の選択したコース専門科目に加えて、他コースの専門科目も選択することが可能となり、学修の範囲を広げることができた。 3. 新入生に本学を志願した理由を尋ねると約6割の学生が「学びたいコースがある」と回答しており、大学を選択する際にコースの専門性やカリキュラムがわかりやすく説明できていると言える。</p> <p>&lt;平成27年度の新たな取り組み等&gt; 1. 今般の是正及び改善意見を受けて、シラバスの全面的な見直しを行うとともに、適切な成績評価基準の統一を図ることとした。 2. 正課教育の充実に加えて、正課教育外のリメディアル教育の補完として平成27年度に学習支援室準備室を設置し、平成28年度より学習支援室として本格的に運営を開始した。 3. 平成28年度より入学定員80名増員し、360名とした。本学科の教育に対する取り組みが受験生や保護者に理解され、368名の入学者となった。次年度以降も学年進行に従い本学科の目的を達成できるよう設置計画を履行していく。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年8月1日 公表予定</li></ul> <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・自己点検・評価報告書を刊行し、関係大学、関連所属協会等に配布予定。</li><li>・大学ホームページ上に公開（平成28年8月1日を予定）</li></ul> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成28年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受審予定。学内、学園内で自己点検評価書及び関連資料の作成中。</li></ul>
---

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成27年10月29日 )</p>
--